桐鈴凜々

第166号
2026年10月10日発行

発行責任者
社会福祉法人 桐鈴会
理事長　黒岩秩子
南魚沼市浦佐5142-1
電話　025-780-4118
FAX　025-777-3731
e-mail info@toureikai.com
http://www.toureikai.com/

桐鈴会祭りを終えて

まつり実行委員長
ケアハウス鈴懸　上村裕樹

今年度、桐鈴会祭りの実行委員長を務めさせていただきました。

祭りの準備を振り返って、まず感じるのは「事前準備の大切さ」です。

当日を迎えるまでには、会場の準備や各部署との調整、食事や飲み物の準備、職員の配置など、さまざまなことを決めていく必要がありました。しかし、実際に準備を進めてみると、予定していた通りに進まないことも多く、思っていた以上に時間がかかってしまったり、直前になって変更が必要になったりすることもありました。

特に、準備が予定より遅れてしまったときには、「このままで当日に間に合うのだろうか」と焦ることもありました。実行委員長として全体を見ながら進めていく中で、もっと早い段階から準備しておけばよかったと思う場面もあり、改めて事前準備の重要性を実感しました。

それでも、当日を迎えることができたのは、多くの職員の協力があったからだと思います。

それぞれが自分の担当の仕事を進めながら、準備や片付けを手伝ってくれたり、予定の変更にも対応してくれたりしました。天候のこともあり、直前に会場の配置を変更することになりましたが、そのような状況でも皆さんが協力して動いてくれたことで、無事に祭りを開催することができました。

そして、祭りを終えて一番嬉しかったのは、職員から「ありがとう」「お疲れ様」と声を掛けてもらえたことです。







桐鈴会の理念

・終のすみかを目指す
・「迷惑をかけ合える関係」を目指す
～高齢者、しょうがいしゃ、子どもたちが安心して住める地域を創ろう～



準備をしているときには大変だと感じることもありましたが、終わった後にその一言をもらうと、「やってよかったな」と素直に思うことができました。自分一人で作り上げたものではなく、たくさんの職員が関わって、一つの行事を形にすることができたからこそ、その言葉が嬉しかったのだと思います。

また、祭りを通して、普段の業務ではなかなか一緒に仕事をする機会のない職員同士が協力する場面も多くありました。準備から当日、片付けまでを一緒に行うことで、普段とは違った形で職員同士が関わることができたことも、祭りの大きな意味の一つだったのではないかと思います。

今回の経験を通して、行事を行うためには、当日の運営だけでなく、その前の準備や情報共有がとても大切だということを改めて学びました。来年また同じ形で開催するかどうかは分かりませんが、今回の経験を次の行事につなげていければと思います。

そして、来年以降、祭りという名前や形が変わったとしても、入居者の皆さんや職員が一緒に楽しめるような機会は、できれば残していってほしいと思います。

大きな行事だからこそ大変なこともありますが、普段とは違う時間を皆で共有できることには、それだけの価値があると感じました。

最後になりましたが、準備から当日、片付けまで協力してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

そして、実行委員長として至らないところも多くありましたが、最後まで一緒に進めてくださった実行委員の皆さんにも、心から感謝しています。

今年の桐鈴会祭りが、皆さんにとって少しでも楽しい思い出として残ってくれたら嬉しいです





職員の手作りです











なごみの花

鈴懸

石田洋一郎

皆さんも鈴懸に来た時に一度は見たことがあると思います。ロビーの花瓶や花器にきれいな花が飾ってあるのを。

その花が入居者や職員、来客された方々の心を毎日和ませてくれてます。

あれは鈴懸の中にある桐鈴会本部に勤務している島村キヨミさんが毎週新しい花に取り替えてくれているんです。もう12年ほどになるんでしょうか。

改めて感謝をつたえたいと思います。島村キヨミさん、いつも素敵な花をありがとうございます。



新人職員紹介

工房とんとん

鈴木美春

7月より「工房とんとん」の生活介護で勤務しております。介護の仕事は初めてで、毎日学ぶ事ばかりですが、先輩の温かいご指導のもと、利用者さんとの関りを通して、多くの事を学ばせていただいております。

まだ慣れない点も多いですが、利用者さんに寄り添った支援ができるよう日々努めてまいります。一日でも早く皆様のお役に立てるよう、一つひとつの経験を大切に成長していきたいと思っております。

よろしくお願いいたします。

工房とんとん

櫻井まゆみ

8月から工房とんとんの生活介護に勤務しております。

日々の利用者さんとの関りの中で驚いたり、考えさせられたり、笑顔をもらったりと学ぶことが沢山あります。

まだわからないことも多いですが、利用者さんが安心して過ごせますよう、努めてまいりますので、よろしくお願いします。



退職者報告

笠原聖矢さんお疲れさまでした。

いつも笑顔でファンも多く人気者、何でも知っている笠原さんが7月いっぱいで退職となりました。

利用者と楽しそうに過ごす姿がとても印象深かったです。特に喋れない利用者さんの心の声を読み取る力素晴らしかったです。

とんとんでの経験を活かしてこれからのご活躍を応援しています。

お疲れさまでした。

工房とんとん

職員一同より

新しい世界

朝目覚めた時から
新しい世界がはじまる
実際には昨日の続きだけど
いつものルーティーンや
いつもの仕事を繰り返すけど
昨日の思考の続きだけど
目覚めれば誰にだって
新しい世界がある
みんなの個性的な世界
そんな時
陽射しがカーテンから差し込んでいるだけで
はじまりの朝は気分が良い
昨日なかなか眠れず
終わりのないような夜を越えて
少し寝不足も考え方によっては心地好い
眠るまえに瞼を閉じれば
そこから新しい世界が広がっている
自分だけの誰にも邪魔されない世界
いつもいつの日も朝目覚めれば
きっと新しい世界がはじまる
この毎日新鮮な気持ちは
眠ることで心がリセットされて
嘘のようで嘘じゃない
新しい世界

梅沢将大（詩）

毎週金曜日更新の桐鈴会ホームページにも梅沢さんの詩が掲載されています。こちらもぜひごらんください。

鈴懸のおしどり夫婦、最後まで一緒

鈴懸おはようヘルプ

井口節子

鈴懸のおしどり夫婦と言えば、皆さん信吉さんとキミイさんを思い出すのではないでしょうか？ヘルパーから見たお2人との一期一会をご紹介します。

信吉さんの入浴介助で訪問すると、お風呂に浸かりながら越後三山を眺め、「昔は中ノ岳に何度も登ったんだ」と、山の思い出を聞かせてくださいました。中でもお気に入りだったのが、山の上で食べる味噌漬けのおにぎり。「山で食べるおにぎりは、最高にうまいんだ！」と、嬉しそうに話されていました。

新潟日報に投稿されたエッセイや、ご自分で描かれた花の絵も、「これ、見てくれ」と嬉しそうに見せてくださいました。

そんな信吉さんがいつも願っていたのは、「キミイとずっと一緒に暮らしたい」ということでした。

一方のキミイさんは、「信吉は本当に無口で、いっそ愛想がねーて」と文句を言いながらも、結局は信吉さんの身の回りのことをせっせと世話していました。

ある時には、「この前、本当に憎らしくて、頭を1回叩いてやったら、3回お返しが来たて！」と、笑いながら話してくれました。一回叩いて、3回返ってくる。なかなか激しい夫婦喧嘩ですが、話すキミイさんの顔は、とても楽しそうでした。

信吉さんは無口で愛想がない。キミイさんは文句を言う。でも、心はちゃんと通じ合っていたのでしょう。同じ部屋で暮らし、笑ったり、文句を言ったり、時には叩き合ったり……。それでも、いつも2人は一緒でした。

そして、信吉さんが亡くなられてから約1か月。今度はキミイさんが、信吉さんを追いかけるように亡くなられました。

「ずっと一緒にいたい」、そう願っていた信吉さん。もしかするとキミイさんも、「しょうがねーなー。私も行くこて」と、いつものように文句を言いながら、信吉さんの後を追いかけて行ったのかもしれません。

最後の最後まで、やっぱり2人は一緒。

山の話をする信吉さんと、それを横で聞いているキミイさん。文句を言いながらも、しっかり世話をするキミイさん。

笑いあり、ケンカあり、そして愛情あり。

そんなお2人は、私にとって忘れられない、素敵なおしどり夫婦です。



ありし日の
井上ご夫婦

【追悼】井上夫婦

井上信吉、キミイの娘

埼玉県在住　高瀬比呂子

15年間、両親ともにケアハウス鈴懸様にお世話になりました。

本当にありがとうございました。

父が100歳で4月に、母がその後を追うように95歳で5月に亡くなりました。

あちらでも2人で仲良く過ごしているのだと思います。

その節は温かいお心遣いをいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

おかげさまで無事に葬儀を終えることができました。

生前は、自由がきかなくなった両親を見守っていただき、遠く離れて住む家族だけでは行き届かない、手厚く細やかなケアをしていただきましたことに感謝の気持ちで一杯です。

石田施設長様をはじめとするスタッフの皆さまの親身なお心遣いに、深く御礼申し上げます。

これからも皆さまのご健勝と施設のますますのご発展をお祈り申し上げます。

長い間本当にありがとうございました。



ケアソク

黒岩秩子

7月の終わりのころのことです。左足の親指の巻き爪が痛くて、びっこをひいていました。その時次女海映から、ケアソクの情報をもらい、早速2足5900円で注文し、翌日届きました。ケアソクというソックスを履いたとたんに痛みを感じずに歩けるようになったのです！びっくりしたまげました。

ケアソクを作っているのは新潟県加茂市にある「山忠」という会社でした。新潟県の中では、履物を作って売っている「山忠」として、かなりの人が知っていました。

次女の知り合いのデザイナーが山忠のお店をデザインしたところ、売り上げが3倍になったという、そんな力のあるデザイナーさんです。

山忠の会長中林功一さんは、青山学院大学の文科を卒業していますが、足のことを研究したくて、新潟医療福祉大学の修士に入学して、足のメカニズムを研究しました。その結果できたのが、このケアソクだったのです。

私は2足では足りないし、足裏にかかる体重を測定してほしくて、7月28日に加茂の山忠へ行くことを考えつきました。次女からそのことが中林さんに伝わると、新幹線で燕三条までくれば、迎えに行くというのです。私の巻き爪の痛みが履いたとたんになくなったという情報がうれしかったからとのこと。浦佐から、燕三条には25分しかかかりません。加茂に行くには乗り継いだりして、かなり時間を食うのです。

当日、本当に会長の中林さんが燕三条駅に迎えに来てくださいました。車で20分以上かかったのではないでしょうか？その車の中で聞きました。新潟医療福祉大学に通うには、1時間以上かかるので、仕事が終わってから平均で週3日往復2時間以上かけて通ったのだそうです。その結果足の構造がわかり、医者や、理学療法士などの助言を得ながら、ケアソクの合理性を追求していった、ということでした。

お店につきました。おしゃれな感じのお店です。これが、次女のお友だちがデザインしたお店なのかと、じっくり見せていただきました。

2人の男性と4人の女性が迎えてくださいました。社員がみんな若くて驚きました。50歳以上の人は、会長だけみたいでした。二人の男性が、私の足の裏のどこに体重がかかっているのか、写真に撮って教えてくれました。右は親指、左はかかとの部分が赤くなっていました。

ケアソクを2足、色違いで買って、帰りは、会長でなく、先程、私の足の裏の写真を撮ってくれた男性が燕三条まで送ってくれました。その車の中でいろいろと聞かせてもらったのですが、近くに商品を作る工場があること、山忠は、加茂では有名な「いい会社」なので、入社試験に受からないと思っていたのに、バンドをしていたということに当時の社長（現会長）が興味を示してくれて、合格したとのこと。

帰ってきてから、いろいろなところで宣伝していたら、ここらの人でも山忠を知っている人が半分ぐらいいることがわかりました。ソックスや、レッグウォーマーなどを買っている人も何人かいました。創業して67年になるということですから。



足と靴の第一人者と共同研究
新潟医療福祉大学
教授 阿部 薫

もはやケアソクは、靴下ではなく、
靴下の形をした健康器具なんですよ。

インタビュー『ケアソクの研究開発者たち』より（www.caresoku.com）

ととのえる ウォーキング
足の疲れや痛みが気になる人に。
新開発！はくだけで足トラブル 予防＋緩和

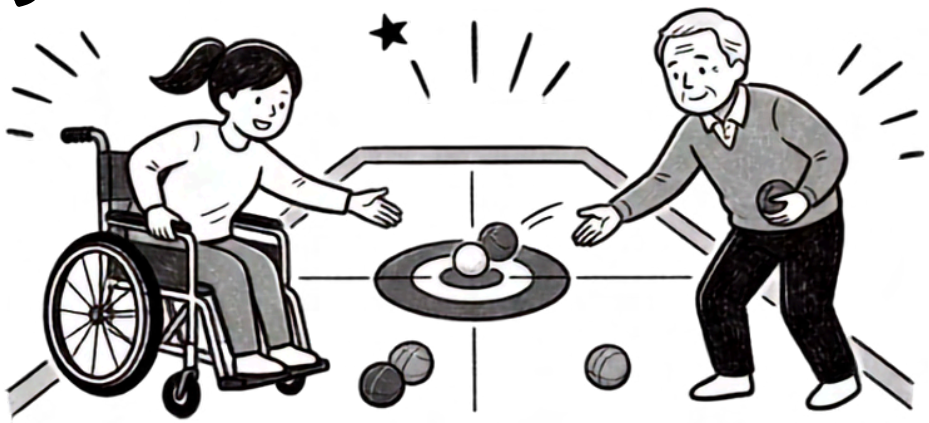
2026 工房とんとん 感謝祭

10月31日（土）
（11:00～15:00）

新作パンや限定パンが勢ぞろい！
手作り小物やバッグも
特別価格！

グループホームおひさま主催

ボッチャ桐鈴カップ！



日 時：10月18日（日） 時間は追ってご連絡します。
場 所：夢草堂（ケアハウス鈴懸 隣）
参加費：1チーム 500円
対　象：どなたでも（未経験者大歓迎）
1チーム3～6名

ボッチャってなに？



白いジャックボールに向かってボールを投げ合い、より近づけた方が勝ち。年齢や性別、障がいの有無に関わらず、みんなで楽しめるスポーツです！

お申込み

※QRコードを読み込んでお申し込みください。

グループホーム
おひさま
025-780-4152

みんなの笑顔がつながる場所

駅前地域食堂

どなたでもお気軽にどうぞ！

みんなで食べて、みんなで楽しもう！

みんなで食べよう！

地域食堂のご案内

おいしいごはんで地域のみなさんのつながりを大切に♥

10月18日(日)

場所　働く婦人の家

受付開始　11時30分～

メニュー
- 新米おにぎり
- 豚汁
- 季節の一品

新米のおいしさをみんなで味わいましょう！



11月8日(日)

場所　働く婦人の家

受付開始　11時30分～

メニュー
- 生そば
- 季節の一品

のどごしのよい生そばをぜひご賞味ください！



掘り出し物が見つかるかも！

フリーマーケット

同時開催！

衣類・雑貨おもちゃ・本などいろいろ！

場所　駅前ハウス



お気軽にお越しください♥

食堂とフリーマーケットで地域のつながりを大切に♥



鈴懸俳句教室「晩夏」の句

蘭鋳の尾びれに新種記す槽
石田富男

柵越しに日傘差し出す立話
関　勝美

ランナーの正しきリズム朝の蝉
衿元に秋の気配の風少し

豊野美佐子ライブコンサート

鈴懸　石田洋一郎

10月6日午後から鈴懸食堂に豊野美佐子さんを招いてコンサートを行いました。地元の歌手ということで親しみもあり、本人も入居者や職員を知っている人がいて楽しく歌えたと喜んでいました。

豊野さんは、おもに県内の福祉施設や保育園等で歌っているそうで、それゆえ歌っている曲は童謡・唱歌・懐メロが多いそうです。はじめの「川の流れのように」で、完全に会場を呑み込んでしまいました。知っている曲は観客も一緒に歌ったり口ずさんだりしていました。コンサートは桐鈴会の各施設から大勢の人が見に来てくれて大盛況でした。



編集後記

行方美香子

5歳の息子が絶賛ポケモンにはまっています。私が子どものころにテレビ放送が始まり、第一話を見たことをうっすらと覚えています。自分が好きだったものを我が子が興味を持ってくれる嬉しさと時間の経過に感慨深さがあります。

子どもたちのおもちゃを見ると、アンパンマンやシルバニアファミリー、恐竜やウルトラマンなど自分が子どもの時にもあったものがたくさんあることに気がつきました。時代を超えて子どもが好きになるものは変わらないのだと実感しています。

子どもが当時の私と同じものを好きになってくれることで、共通の話題ができ、自分の子ども時代を思い出すきかっけにもなります。懐かしさと嬉しさで自分の話を子どもたちに伝える機会ができます。いらない物をすぐ捨てる私ですが、子どもの好みは時代を超えることを実感し、今遊んでいるおもちゃは綺麗に取っておこうという考えが芽生えています。